

平成26年度の病院機能評価データブックが平成28年3月に発行されました。
審査結果の中で「秀でている」というS評価の事例が掲載されています。

病院機能評価データブック

平成 26 年度

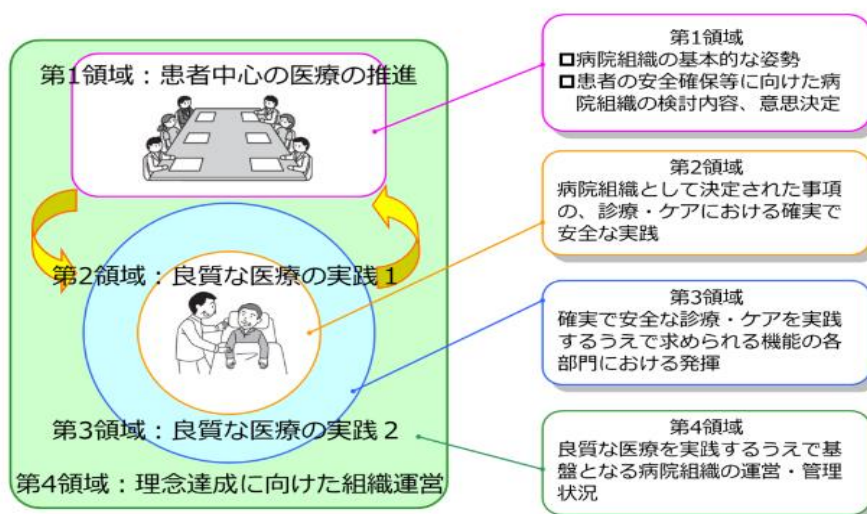
平成 28 年 3 月



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

1.5 対象領域と評価項目

病院の組織管理・運営実態や、医療の質を適切に評価するため、評価項目は以下4つの評価対象領域で構成されている。



1.6 評価判定と認定

評価対象である中項目は、「S、A、B、C」の4段階で評価される。

指摘する問題がない場合は「A評価（適切に行われている）」、若干の課題（継続性等）は認められるが、認定の判定には影響しない場合は「B評価（一定の水準に達している）」となり、全ての中項目がB評価以上であれば認定となる。C評価（一定の水準に達しているとはいえない）がついた項目のうち、問題の重要性や改善の緊急性が高い場合には「改善要望事項」がつけられる。当該項目の改善に取り組むことが認定取得の要件になる。S評価「秀でている」は、A評価のうち非常に優れている場合に適用される。

評価	定義
S	秀でている
A	適切に行われている / 指摘する問題がない
B	一定の水準に達している / 若干の課題（継続性等）は認められるが、認定の判定には影響しない
C	一定の水準に達しているとはいえない

第1領域 患者中心の医療の推進

1.4.1 医療関連感染制御に向けた体制が確立している(一般病院1)

○特定医療法人社団育成社佐々木病院(～99床) 新規受審

ICD、ICNを配置した感染症対策委員会が組織され、週1回、院内ラウンドが実施され、月1回、会議が開催されている。感染管理加算1を取得しており、地域における感染症対策をリードする立場である。関連医療機関に対する感染制御に関する指導などの実績もあり、高く評価される。

第2領域 良質な医療の実践1

2.2.2 かかりつけ医機能としての外来診療を適切に行っている(一般病院1)

○特定医療法人社団育成社佐々木病院(～99床) 新規受審

鶴見区ルール(地域において救急搬送患者は中核病院が受け入れ、関連病院がポストアキュートの対応として輪番制で患者を受け入れる体制)の構築に積極的にかかわり、現在、この体制を地域において適切に機能させている。当該病院の地域において求められる機能は明確であり、患者の紹介、逆紹介が適切に行われており、地域のかかりつけ医としての機能は高く評価される

第4領域 理念達成に向けた組織運営

4.2.4 職員にとって魅力ある職場となるよう努めている(一般病院1)

○特定医療法人社団育成社佐々木病院(～99床) 新規受審

毎月の改善委員会で職員の意見を把握しているほか、毎年職員満足度調査を実施している。退職後の就業支援、夜間専門ナースや育児短時間勤務制度が取り入れられている。また、職員宿舍、医療費補助、交流会補助、食事補助、住宅補助など福利厚生にも配慮されている。リハビリテーション部の理学療法士7名のうち5名が大学院へ進学し、うち2名は医学博士を取得している。また、看護部では2名が感染管理認定看護師を取得しており、職員の能力開発・資格取得に対する病院の支援は高く評価できる。